

パナ財団の報告会開かれる 反転授業にICT活用例も 大阪で理解の広がり目指し

ICTを活用した授業
実践を支援している（公
財）パナソニック教育財

団（小野元之理事長）主
訪ねて助言する。

催の実践研究助成研究成
果報告会が8月2日、大
阪市のインテックス大阪
で開かれた。第43回（平
成29年度）一般助成優秀
校・団体の部門で最優秀
に選ばれた東京都狛江市
立狛江第三小学校など14
校・団体が表彰された。
第42回（平成28～29年度）
特別研究指定校・特別指
定校に選ばれた茨城県古
河市立上大野小学校など
6校の成果が発表され、
参加者の関心を集めた。

財団の一般助成は1年
間の研究に50万円を助
成。特別研究指定校に対
しては2年間の研究に1
50万円を助成し、年3
回、計6回にわたり財団
指名の研究者が指定校を
実践が有効であると考

え、知識・理解が広がる
ことを期待した。

反転学習に必要な予習
動画は、教科ごとにチー
ム編成して全教科を共同
制作した。内容は1～2
分程度と短く、シンプ
ルに徹した。予習動画で全
てを教えるのではなく、
次の授業のイメージを抱
くことができ、理解が
難しそうな部分があると
分かれやすいといった姿
勢で臨んだ。説明不足が
あっても、気になる部分
があつた方が生徒の学習
意欲につながるやすいか
らだ。時には音声を入れ
ずに作り、生徒が音声に
頼らず自分自身で探って
考えるように促した。予
習動画の作成は、教員に
とって当初は時間を要す
るものだったが、動画が
ストックされ共有化され
るに従って、教員のスキ
ルも向上し、問題点は解
消された。

こうした活動を通じて
「予習を中心とした学
び」に変わっていき、
「先生に教えてもらうよ
り、自分で探りながら学
んだ方が面白い。自分た
ちで教え合いながら学ん
だ方が、理解が深まる」
との意識が生徒に芽生え
た。今後の課題は、継続
性と反転学習の輪を広げ
ることだという。

パナソニック教育財団
の学校教育に対する研究
・助成事業は、財団のホ
ームページ (<http://www.pef.or.jp/>) に紹介さ
れている。